

自然体で暮らす／いなか王国・高知県安田町

まんま

Vol.12

Enjoy Country Life
YASUDA CHO

「第12号」2011 MARCH 3

“まんま”が
いちばん!!



ふるさと 百景

安田町今昔物語



坂本龍馬の義兄 高松順蔵(小埜)の南画

小埜は、絵を高知の壬生水石に師事し、
南画大雅堂の流れを学んだ。

絵の右上「小埜筆布衣」とある。

布衣とは、庶民が着用する布製の衣服のこと。

安田町

町を抜ける風がふんわりと優しくなつて
山も川も海も、春化粧を始めました。

「今年の桜はいつ頃やおね」
そんな言葉が交わされます。

安田の春は、すぐそこです。



Contents

3

共に支え合える

町民協働の町づくりを

有岡正幹 町長 ● インタビュー

5

・安田町のこゝ、見どころ！

安田まちなみ交流館「和」
本格オープン！

・安田町地域雇用創造協議会の活動

7

安田町のチャレンジ

町の新しい特産品をつくろう
トロピカルフルーツ・マンゴーの
試験栽培開始！

8

安田人（やすだびと）

詩吟を始めて30年。コロムビア
全国吟詠コンクール優勝！

安田町 安田 ● 安岡義一さん

9

安田町カレンダー

町のみんなが集まって
こんなことをやったきね！

安田町には、幕末維新の礎となった
偉人たちがいます

13

特集◎安田町のかみさま、ほとけさま





平成21年秋に輝るぼーと安田が完成。22年秋には修復工事が完了し、旧市川医院・柏原邸が安田まちなみ交流館「和（なごみ）」に生まれ変わるなど、交流拠点の充実が図られた安田町。これら施設の活用や今後の産業振興について、有岡正幹町長に話を聞きました。

安田町長●有岡 正幹（64歳）

共に支え合える 町民協働の町づくりを

“田舎にありがちな
イメージを打ち破る”

輝るぼーと安田の完成から1年。
その成果は？

有岡●町民の皆さんにとって地場
産品販売センター「土佐の元気市」
で日用品が購入でき、暮らしやす
さが向上した意味はとても大きい。
さらにレストラン「ラポール」を併設
したことで、町外からの利用者を呼
び込むことができます。安田町
の活性化のための施設としてこれ
からも大きな役割を果たしていく
と思います。

順調なスタートを切れた要因は
何ですか？

有岡●フランス料理のレストランに
したことで、田舎の施設にありがち

なイメージを打ち破り、集客に結びついていると思います。また、ラポールが開発したソフトクリームを土佐の元気で販売するなど、両者が協力してできた新商品も誕生しています。23年度もこうした取り組みに力を入れ、新たな安田町の産物を作っていくと考えています。

まちなみ交流館「和」の活用はどのような計画ですか。

有岡 ● 3～5月にかけて、岡本寧浦や高松順蔵にちなんだ幕末関連の展示を行うなど、積極的に活用していきたい。プライダルでの利用などオールラウンドで幅広い活用ができる施設にしたいですね。町の観光拠点、交流拠点としての役割も期待しています。

1.5次産業の推進や新たな特産品の開発を

22年6月にできた安田町のこれからの10年に向けた総合振興計画「安田の夢プラン」について教えてください。

有岡 ● 大きなポイントは、住民との協働による町づくりの推進です。少子高齢化が進む中、助け合い、支え合いながら共に生きる地域社会を形成しなければなりません。そのため、役場の全職員を町内の各地域に派遣します。各地域が持つ問題や可能性を深く理解できるので、職員にとって地域を知る良い機会にもなるでしょう。

産業振興策が気になります。

有岡 ● 安田町はハウス園芸の盛ん

な一次産業の町ですが、都市型の近郊農業が主流の今日では不利な状況にあります。そこで、遠隔地の問題を解消するために、1.5次産業の推進やマンゴーの試験栽培など新たな特産品の開発に力を入れていきます。

県外で暮らす町出身者にひと言を。

有岡 ● 少子高齢化が進み、ふるさとが元気でやっているのかと心配されている方も多いと思います。「故郷は遠きにありて思うもの」と、室生犀星の詩にもありますが、町外で活躍されている方々のためにも、しっかりと町づくりを行います。



安田まちなみ交流館 「和」本格オープン!!



安田町地域雇用創造協議会の活動

人材育成や雇用創出に 取り組み安田町の 魅力を再発見

平成20年に設立した安田町地域雇用創造協議会。厚生労働省の委託を受け、安田町の新たな雇用の創出を目的にさまざまな事業を展開しました。今年3月の協議会解散にあたり、取り組みの成果について、事業推進員の西山雅人さんに話を聞きました。

実際の事業は21年から2年間。前期は主に町民の皆さんを対象にした人材育成のためのセミナーや講習会を開催。後期は中芸エリアで連携した観光分野での人材育成などに力を入れました。『旅づくり塾』というセミナーを行い、中芸エリア

安田町のここ、見どころ！

平成22年秋に改修工事が終わり、安田まちなみ交流館「和」に生まれ変わった旧市川医院・柏原邸。今年1月から本格的にオープンし、館内見学ができるようになりました。

施設に常駐し、受付や案内を担うのは、安田町在住の西山香苗さん。実は香川県小豆島の出身です。『和』は木の香りが気持ちいい建物。春から夏にかけてはお遍路さんや観光客が増えるので、お接待や館内の案内をして『和』の魅力を伝えたいと話します。訪れた人に観光案内もできるよう、休日は町内のいろいろな場所を回って勉強中。「安田町のよさをもっと発信できるよう、観光情報にプラスアルファの提案をしていきたい」と、やる気満々です。

3月に「土佐の町家雛まつり」（P9参照）が行われ、高松順蔵をはじめとする幕末維新に活躍した郷土の先人にちなんだ展示も開催される「和」。西山さんの活躍の機会も、これからますます増えます。



▲「土佐の町家雛まつり」で安田町のメイン会場となっている「和」。懐かしい雛人形が展示されます。



◀2月には中庭に梅の花が咲きました。枯山水により美しく映えていました。

「和」 〒781-6421 安田町安田1672-1
TEL.0887-38-3047



の観光物件の洗い出し、中でも安田町の海、山、川が二級品の魅力を持つことを再発見できたのは成果ですね。

雇用面では、輝るぼーと安田での就業や観光ガイドなど、2年間で30人を超える雇用を創出しました。

活動を通じて気付いたことは、安田町だけでなく、広く他地域と連携すること



とで新たな可能性が生まれること。また、安田町は元気な高齢者が多いことも発見のひとつ。町にとって大きな財産ですね。一方、やる気のある人の固定化など、今後の課題も浮かび上がりました。

協議会は終了しますが、この事業によって安田町に活力を生むためのタネをまくことができたと思います。



町の新しい特産品をつくろう

トロピカルフルーツ・ マンゴーの 試験栽培開始!!

なすを栽培するビニールハウスが立ち並ぶ安田町唐浜の一角で、何やら見慣れない植物を栽培するハウスが…。なんと南国のフルーツ、マンゴーの栽培を行っています。

マンゴー栽培は、安田町に新たな特産品をつくろうという試み。南国市で平成18年からマンゴー栽培を行っている(有)土佐継承農匠^{とさけいしょうのうえん}の協力の下、町のビニールハウスで試験的に栽培されています。同社では「とさおとめマンゴー」のブランドで果実を販売するほか、加工したマンゴー・ピューレを使ったドレッシングやアイスクリームも商品化。県産マンゴーの増産で、ブランドの認知を全国に広めたいことから、安田町の試験栽培を支援しています。



常務取締役 前田さん



専務取締役 営業担当
岸上さん

「安田町は土壌や気候、地形がマンゴー栽培に向いています。また、なすのハウスが転用できるので、農家の皆さんも取り組みやすいのではないのでしょうか」と話すのは専務の岸上孝夫さん。実は安田町唐浜の出身で、それだけに試験栽培への思いはひとしおです。

安田町のハウスで育っている苗木のほとんどが、本格的に収穫できるのは3、4年後。しかし、何本かは来年の収穫が見込めます。同社常務の前田淳二郎さんは、「まず町民の皆さんに味わってもらい、マンゴーを知ってもらおう。それが新たな特産品づくりの第一歩になります」と話し、安田町のマンゴー栽培の本格化に期待を寄せています。

まず町民の皆さんに
味わってもらおう、知ってもらおう
ことが新たな特産品
づくりの第一歩



詩吟を始めて30年

コロムビア 全国吟詠 コンクール優勝!!

安田町安田●安岡義一さん(71歳)



平成21年12月6日。東京・中野サンプラザホールに安田町在住の安岡義一さんの力強い歌声が響きわたりました。高知県の代表としてコロムビア吟詠コンクール全国決戦大会に出場し、吟じたのは『寒梅』。得意の高音が聞く人の胸を打ち、66歳以上の部に出場の約60人の中で見事優勝を勝ち取りました。



幼少の頃から歌うことが大好きだったという安岡さん。小学生のころから、民謡や浪曲に親しんでいました。

詩吟に出会ったのは40歳頃のこと。「先人たちの漢詩に込められた意味が伝わるよう、心から大きな声を出して『吟ずる』表現に魅力を感じた」と安岡さんは話します。農協に勤めるかたわら詩吟の練習を続け、10年目に高知県詩吟剣舞連盟の大会で1位になったのを契機

に師範となり、自宅を教室に指導してきました。

県内でさまざまな賞をとり、吟じ続けてついに全国優勝を果たした安岡さん。「トロフィーをもらった時は、夢じゃないかと思った。詩吟をやつていてよかったし、これからも元氣な限り続けたい」。

コンクールの2年前、交通事故で妻の美恵さんを亡くしました。「いろんな大会で賞をもらっても、女房は『あら、そう』なんてそっけなかったもんだが、さすがに全国優勝は大喜びしてくれたらうね」。そう話す安岡さんの目に、きらりと何かが光りました。



町のみんなが集まって こんなことを やったださね！

イ	平
ベ	安
ン	田
ト	町
便	22
り	23
	年

伝統の祭りからにぎやかなイベントまで、平成22、23年もさまざまな行事・祭事が行われ、町内外の人たちの交流の輪が広がりました。運営の多くは町の皆さんが担い、安田町に活気を創出。町の元気を生み出す住民同士の協力が、準備や運営の苦勞を乗り越え、笑顔の集う場が生まれています。今年もいろいろな行事が開催される予定です。

1月11・12日

厄除け

3月3～7日

土佐の町家雛まつり

3月20日

清流安田川ウォーク

6月1日～9月30日

アユ漁解禁

7月3日

唐浜駅まつり

8月28日～9月1日

寧浦全国色紙展



1月 厄除け



厄を落とし、開運を祈願(薬師堂)

7月 唐浜駅まつり



ビアガーデンやライブなどが行われ、たくさんの人でにぎわいました。

3月 土佐の町家 雛まつり



安田町をはじめ、田野町や室戸市吉良川など高知県東海岸の町家を会場に、地元の人たちが長年大切に受け継いできた雛人形が飾られる雅なイベント。安田町では平成22年から、まちなみ交流館「和」で行われています。

12月 闘鶏



全国でも珍しい闘鶏場

12月 山芋まつり



8月 第17回 寧浦全国色紙展



安田町出身の岡本寧浦や高松順蔵ら先人にちなんだ書画コンクール。今回も、全国の書画・色紙愛好者から291点の作品が集まりました。作品は安田町文化センターに展示。書の世界を多くの人が堪能しました。

なかやま山芋まつり

12月12日

闘鶏

12月5日～翌6月

恋するやすだまつり
（婚活イベント）
く食べて、動いて、恋をして

11月21日

安田町文化祭2010

11月19日～21日

1周年記念感謝セール
輝るぼーと安田 土佐の元気市

10月30日～11月7日

神峯神社秋の大祭

10月28日

中山秋まつり

10月10日



10月 神峯神社秋の大祭



中芸地区で最大の祭りで、標高600メートルの神社から神輿を担いで唐浜まで駆け降りる様子は勇壮そのもの。また、池川神楽や北川村やまなみ太鼓などの奉納も行われました。

6月 アユ漁解禁



「清流めぐり利き鮎会」で2度のグランプリに輝き、「天然アユがのぼる100名川」に選定される安田川。待ちに待った解禁日には、たくさんの釣り人でにぎわいます。

はぐくんだ安田の先人たち

岡本寧浦【退蔵】

おかもと ねいほ

弥太郎、半平太らに教え



安田町の乗光寺に生まれた岡本寧浦は、幕末の土佐藩屈指の儒学者。大塩平八郎らに儒学を学び、藩主・山内豊熙に請われ、藩の教授館下役を勤めました。家塾として開いた「紅友社」には1000人を超える門下生が集まり、三菱の創始者で甥の岩崎弥太郎や清岡道之助など幕末に活躍する人材を輩出。また、武市半平太、吉田東洋など、多くの人々との交流も知られています。

高松順蔵【小塾】

たかまつ じゅんぞう

義弟、龍馬の思想に影響



坂本龍馬の長姉・千鶴の夫、順蔵。安田町には夫婦の墓と屋敷跡が残ります。経書や歴史の研究、絵画、和歌など博識で多芸な人物として知られ、彼の書が安田まちなみ交流館「和」に展示されています。順蔵の開いた私塾では中岡慎太郎など多くの勤王志士が教えを受けました。龍馬も順蔵や千鶴を慕い、たびたび高松家を訪れていたことから、順蔵に感化されたこと大といえるでしょう。

坂本直【高松太郎】

さかもと なお

龍馬とともに海援隊で活躍



高松順蔵の長男で龍馬の甥。武市半平太と知り合ったことから土佐勤王党に入り、尊王攘夷運動を始めました。龍馬のすすめで勝海舟の門下生となり航海術を習得。日本初の商社といわれる「亀山社中」、のちの海援隊の隊士として活躍。ユニオン号購入に尽力するなど、龍馬と活動を共にします。明治4年には、朝廷の命を受けて坂本龍馬の養子となり、坂本家の跡を継ぎました。

わが町の誇り。回天の志を

坂本直寛【高松習吉】

さかもと なおひろ

自由民権運動の名高い論客



高松順蔵の次男で、龍馬の兄・坂本権平の養子になった坂本直寛。高知市に設立された政治団体・立志社の社員として、自由民権運動に参加。憲法起草委員として「憲法見込み案」を起草するなど、植木枝盛らとともに理論的指導者として活躍しました。県会議員として政治活動をする一方、キリスト教の伝道にも傾注。後年は北海道に移住し、開拓や入植指導に生涯を捧げました。

石田英吉【伊吹周吉】

いしだ えいきち

幕末の動乱を生き抜いた俊英



明治時代、高知県知事を務めた石田英吉は、安田町中山に誕生。高松順蔵に経史を学びました。土佐勤王党の吉村寅太郎に心酔し、天誅組に参加。大和拳兵で幕府軍に敗れ、長州へ逃走します。高杉晋作や木戸孝允らと交流ののち、龍馬率いる亀山社中に参加。明治維新後は秋田、長崎、千葉、高知の県知事を歴任。貴族院議員を経て男爵を授けられ、華族に列せられました。

清岡治之助

きよおか じのすけ

野根山事件で散った志士



二十三士副首領・清岡治之助は、安田町中山の大庄屋に生まれました。岡本寧浦に儒学を学ぶ一方、剣術や柔術、砲術にも取り組み、文武両道に励んだといえます。藩校・田野学館で文武教頭に就任する一方で、土佐勤王党に加盟して国事に奔走。土佐藩に拘束された武市半平太を救おうと22人の志士とともに野根山に決起しますが、捕えられて処刑されてしまいました。



安田町の ほかみさま、 とけさま

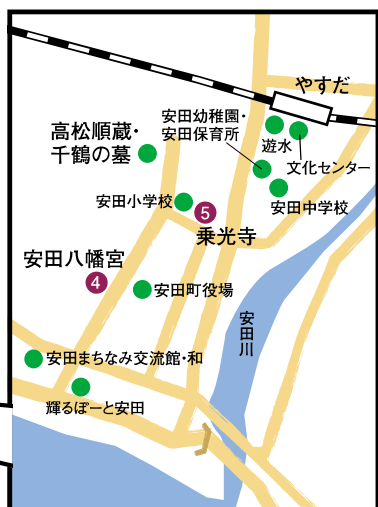
町の神社・仏閣は、
わたしたちの暮らしを
やさしく見守って
くれています。



⑤ 乗光寺



⑥ 須賀神社



⑦ 薬師堂





② 神峯神社



① 北寺



③ 神峯寺



④ 安田八幡宮



安田町発のNEWトロピカル・スイーツ

あん た 安田の白い夢 (マンゴー大福)

安田町の新しい味として
輝るぽーと安田のレストラン
Rapport(ラポール)がお届けす
る、お土産にぴったりのマンゴ
ー大福「安田の白い夢」。

甘酸っぱいマンゴー・ジュレと
クリームチーズが、やわらかな求
肥に包まれたスイーツです。ユ
ニークなネーミングとトロピカル
なおいしさで、人気急上昇。

冷凍で販売しているので、解凍してまったりした味わいを楽しむもよし、半
解凍でさっくりとした歯ごたえを楽しむもよしと、味わい方もお好みで。町に帰
ってきた時は、ぜひ味わってほしい逸品です。



- ・(3個入り)380円
- ・(6個入り)650円

販売場所

- ・レストランRapport
(ラポール)
- ・安田町安田1574-3
輝るぽーと安田内
- ・TEL.0887-38-5331
- ・定休日 毎週水曜日

編・集・後・記

安田町内の神社やお寺を撮影して回りましたが、
その数の多さにビックリ!今回は7ヶ所紹介しましたが、
皆さんもどこにあるか探してみてください。



お問い合わせは 安田町役場総務課

〒781-6421 高知県安芸郡安田町大字安田1850
TEL.0887-38-6711 FAX.0887-38-6780
HP <http://www.town.yasuda.kochi.jp/home.htm>
E-mail ysd-somu@town.yasuda.kochi.jp

安田町役場中山支所／〒781-6430 高知県安芸郡安田町大字正弘716-2
TEL.0887-39-2008 FAX.0887-32-4008